



ひたち海浜公園から発信する旬な情報



2011年10月24日撮影

みはらしの丘のコスモスが見頃を迎えました。

「コキアの紅葉から赤いコスモスへ。

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」ではコキアの紅葉が終わりつつあります。今は台風の影響もあり、当初

の予想より紅葉の時期が1週間程、早まりましたが、例年以上に大きく成長したコキアは美しく色づき、多くの方々の目を楽しませてくれました。

それと入れ替わるように現在はコスモスが見ごろを迎えております。今年は「ディープレッドキャンパス」という濃

い赤い花色のコスモス1種類にして、新しい風景を創り出しました。これからはコキアから秋の主役を引き継いだ、200万本のコスモスが、みはらしの丘の裾野を赤く染めています。

また、10月23日まで開催した「きて、みて、さわってコキアカーニバル」期間中、

来園された方々に震災復興を祈念したメッセージカードを書いていただき、メッセージカードをみはらしの丘のコキアに飾りました。11月3日（木・祝）～6日（日）の間は、このメッセージカードをみはらしの丘のコキアに飾つて復興を祈念します。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター
広報宣伝チーム 青木・服部・和光
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4
TEL : 029-265-9001 (報道関係者の方は 9004・9005)
FAX : 029-265-9339
<http://www.hitachikaihin.go.jp>
“ひたち海浜公園”で検索

震災からの復興を みはらしの丘から 祈念する

国営ひたち海浜公園のある場所には、かつて日本陸軍の水戸東飛行場がありました。戦後は米軍の射爆撃場として接収されていましたが、平和を望む地域の人々の活動により返還され、当公園が開園しました。

開園以降、順調に来園者数を増やしてきましたが、東日本大震災以降は来園される方が震災以前と比べて少ない時期が続き、地域全体での復興を目指して、行政や近隣観光施設と協力してきました。

そのような状況の中で当公園は10月5日に開園20年を迎えることとなり、コキアの紅葉とともに、再び多くの方々にご来園いただけようになりました。現在、みはらしの丘ではコキアの紅葉に続いて、200万本のコスモスが丘の裾野を真っ赤に染めています。

10月23日開催された「きて、みて、さわって コキアカーニバル」期間中、来園された方に震災復興を祈念したメッセージカードを書いていただきました。当公園のある茨城県や東北地方に向けたエールや復興を願うメッセージカードは約2,000枚になりました。

このメッセージカードは11月3日（木・祝）～6日（日）の間、東京や東北からいただきたのも加えてみはらしの丘のコキアに飾られます。みはらしの丘は復興祈念の丘となつたのち、春に向けての準備に入ります。

みはらしの丘では、まだまだ
秋を満喫いただけます。

◆みはらしの丘のコスマス

【本数200万本／面積20,000m²】

今年はみはらしの丘の「コスマスを
「ディープレッドキャンバス」という濃
い赤色の「コスマス」一種類にして、新しい
景色を創りました。葉の緑に花色の濃い
赤がとても美しく映えています。

みはらしの丘のコスマスは10月末頃ま
でを開花時期と予想しています。

◆いばらきうまいもんどうろ

【場所／みはらし広場 期間／10月30日
(日)までの毎日】

「コキアや「コスマスとともに、みはらし
の丘を訪れた方々を食でもてなす「いば
らきうまいもんどうろ」。10月23日(日)
の終了予定を10月30日(日)まで延長し
て、「コスマスを見にいらした方々に茨城
のグルメをお楽しみいただきます。

半年後、赤いみはらしの丘は
青い丘へと変わります。



2011年10月24日撮影



国営ひたち海浜公園